

岩手県立住田高等学校 第1学年 地域創造学学習指導案

日時 令和3年9月29日(水)
授業①: 10:20~11:10
場所 体育館
学級 第1学年35名
授業者 西出和久 他6名

1 単元名「自分を知る」 ちょこっとチャレンジ2の成果発表

2 単元について

(1) 題材について

自分の「興味関心のあること」や「これまでやって来たこと」の再確認をすることで自己理解をしてきた。それを踏まえて、生徒個々が自分に身近な課題を設定し、その課題解決に向けた取り組みを実施し、その振り返りを、個人で行った。その成果について他生徒にわかりやすく工夫をしながら発表する。発表内容について生徒同士で対話をし、様々な考え方に気付く。さらに伝え合う活動を通じて、自己の考え方を述べることの達成感を得る。(7月に実施した「ちょこっとチャレンジ」の第2弾となる。)

(2) 児童(生徒)について

住田町出身者が25%、その他は周辺市町からの通学生である。町外出身者の中には、「地域創造学」という言葉を、4月になって初めて知った生徒もいる。とりわけ、今年度は、住田町内出身生が小グループの中心的役割を担っており、他の生徒も意欲的に学習活動に取り組むなどの相乗効果をもたらしている。

(3) 指導にあたって

身近に課題として感じていることや自分の興味・関心と関連づけた研究テーマに基づくチャレンジを計画実施し、検証・考察を行った。7月に実施した「ちょこチャレ成果発表会」での経験を踏まえ、実践結果をもとにした自己の振り返りを他の生徒に発表する。聴衆(オーディエンス)からの感想・質問・意見を聞き、効果的な調査結果が得られた活動であったか、また、計画に無理はなかったかを考える。さらに、相互に発表する活動を行うことで、より高度な学習への意欲につなげたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の分類
社会的実践力	A【地域理解】	○住田町や近隣地域の資源や魅力について調べ、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○地域の課題を自分事として捉え、調査研究内容について提案することができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○地域の人々との対話を通じてさまざまな考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○地域の資源や魅力と自分の関心とを結びつけて、主体的に調査研究を進めることができる。

(2) 評価規準

★汎用的スキル ★態度・意欲・学びの価値

資質・能力		評価規準
A ◎地域理解		・ 住田町や近隣地域の歴史や文化、資源や魅力について知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めている。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	・ 目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動している。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	・ 調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択している。
	3 ☆提案・発信する力	・ 見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫している。
	4 ★好奇心・探究心	・ 調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行っている。
	5 ★困難を解決しようとする心	・ 活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げようとしている。
C 人間関係形成に関する資質能力	1 ☆伝え合う力	・ 調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫している。
	2 ☆協働する力	・ 集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動している。
	3 ★他者受容	・ 多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えようとしている。
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	・ 学んだことについて当事者意識を持ち、これからの自己の学びや活動への見通しを持っている。
	2 ☆創出する力	・ 学んだことについて構想を練り上げて、創造的に表現している。
	3 ★自己肯定感	・ 自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとしている。

4 単元の指導・評価計画 (本時 第 20 時 / 全 20 時間)

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する教科・領域	評価項目 (評価方法)
		オリエンテーション	1	○地域創造学の理解 ・ 高校における「地域創造学」では何を学び、目指すのかを確認する。 ・ 住田町や近隣地域に関する調査研究を通して、地域理解を深めることを目指す活動であることを理解する。	現社・政経 「地域の実情」 「公正な判断力」 「地方財政の現状」 「地方自治の課題」	・ B 1 ☆見通す力 (観察) (・ A ◎地域理解)

		自己理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解 ・中学校時の地域創造学や総合的な学習の時間での研究内容を振り返る。 ・自分の「興味関心のあること」や「これまでやってきたこと」を再認識する。 ・他の人に伝え、意見交換する。 	<p>「地方自治制度と住民の権利」</p> <p>ホームルーム活動</p> <p>「情報モラル講座」</p> <p>「進路学習」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・D1 ☆感じ取る力 (ワークシート) ・D3 ★自己肯定感 (自己認識シート)
5 ~ 6		人間関係づくり	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ソーシャルスキルトレーニング ・自己開示しながらコミュニケーションを深めることで、適切な人間関係の構築を図る。 ・外部への電話のかけ方、インタビューの仕方、適切な言葉遣い、マナー等を学ぶ。 ・発表の仕方や質問・意見の伝え方を知る。 ・ソーシャルスキルトレーニングの振り返りをする。 	<p>「生徒会活動」</p> <p>「生徒総会」</p> <p>「ボランティアガイドダンス」</p> <p>「桜ライン」「海外派遣報告」</p> <p>「地域文化学習」等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・C1 ☆伝え合う力 (観察) ・C2 ☆協働する力 (観察) ・C3 ★他者受容 (観察)
		課題設定・計画	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ちょっとチャレンジの計画立案 ・自己理解を踏まえて、自分に身近な課題を設定する。 ・課題解決に向けた計画を立てる。 	<p>国語科全般</p> <p>理科</p> <p>「観察・実験・探究」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・B1 見通す力 (計画シート)
		振り返り	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ちょっとチャレンジの振り返り ・課題解決につながったのか振り返る。 ・成果発表の準備を行う。 	<p>英語全般</p> <p>「コミュニケーション英語」・「英語表現」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・B2 ☆多角的・多面的に考える力 (ワークシート) ・B4 ★好奇心・探究心 (観察)
7		成果発表	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ちょっとチャレンジの成果発表 ・フォーマットに従い、学年内で成果発表をする。 	<p>保健</p> <p>「現代社会と健康」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・B3 ☆提案・発信する力 (観察) ・C1 ☆伝え合う力 (観察)
		発表会視聴	1	<ul style="list-style-type: none"> ○第5ステージ構想発表会の見学 ・2年生の構想発表会を視聴することにより、研究の進め方と発表の仕方を学ぶ。 	<p>「安全な社会生活」</p> <p>「健康を支える・環境づくり」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・C3 ★他者受容 (観察) ・D1 ☆感じ取る力 (ワークシート)
		課題設定・計画	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニマイプロジェクト (ちょっとチャレンジ2) の計画立案 ・「ちょっとチャレンジ」の反省を活かしながら、今度は自分の外に向かって課題を設定する。 ・夏休みに実施するミニマイプロの計画を立てる。 	<p>体育</p> <p>「ダンス」</p> <p>数学 I A</p> <p>「確率・統計」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・B1 見通す力 (計画シート) ・B5 困難を解決しようとする心 (観察)

8	振り返り	1	○ミニマイプロジェクト（ちょこっとチャレンジ2）の振り返り ・夏休みに実施したミニマイプロの振り返りを行う。	「論証・証明」 音 I 「表現・歌唱・箏」 「混声合唱・アンサンブル」 「鑑賞」	・B 2 ☆多角的・多面的に考える力 （ワークシート） ・B 4 ☆好奇心・探究心（観察）	
			9	発表資料作成学習	発表	・B 3 ☆提案・発信する力（観察） ・C 1 ☆伝え合う力（観察）
				発表準備	家庭 「実習」 「調べ学習」 「社会と共生」 「保育・高齢者」 「人生をつくる」 「家族・家庭」	・B 2 ☆多角的多面的に考える力 （成果物） ・D 2 ☆創出する力（成果物）
ミニマイプロ発表	情報 「情報とメディア」 「情報モラルと社会ルール」 「プレゼン」 「表現と伝達」等	C 1 ☆伝え合う力 （ループリック） C 2 ☆協働する力 （観察）				

※高校では、生徒が各テーマを設定して取り組む探究的な学習となるため、小単元の記載を省略した。

5 本時の指導

(1) 目標

ちょこっとチャレンジの実践結果を踏まえた考察について他者にわかりやすく説明することができる。
また、聴衆者としての気付きや意見を述べることができる。

【C 1 人間関係形成に関する資質能力 ☆ 伝え合う力】

(2) 評価について

◎ 本時のルーブリック (第20時)

パフォーマンス課題		ミニマイプロジェクト実践結果に関する発表及び意見のやりとり
みとる資質・能力		C 1 人間関係形成に関する資質・能力 ☆伝え合う力
パフォーマンスの特徴	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマイプロジェクトに関する発表内容を、よく分かりやすくまとめ、調査活動や検証における考察などについて、他者に十分伝わるように発表の仕方や表現に工夫をしている。 ・発表者の表現や発表内容と捉えた気付きや意見を適切に述べている。
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマイプロジェクトに関する発表内容を簡単にまとめ、調査活動などについて、他者に伝わるように表現している。 ・発表を聴き感じたことを述べている。
	C (支援の手立て)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマイプロジェクトに関する調査活動や工夫点などを具体的にまとめさせ、発表内容の再考の手助けをする。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	※指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	1 本時の進め方の確認 発表・質疑応答 7グループ (5名ずつ) 2 本時の発表会(課題)の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や進め方などを確認する。
展開 35分	課題 「ちょこっとチャレンジ2」の実践結果を踏まえた考察について他者にわかりやすく説明することができる。また、聴衆者としての気付きや意見を述べるができる。 3 発表・質疑応答 (1人当たり5分×5回) <3分+2分> 発表者 「ちょこっとチャレンジ2」の実践結果について聴衆に分かりやすく説明する。 聴衆者 メモを取りながら、発表を聞き、感想・質問・意見を述べる。 4 発表・質疑応答を通して感じたことや新たな気付きをメモする。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者が物怖じせず明朗な声で発表し、聞き手が質問できるように、チューターは、各グループの支援をしながら、活動展開に配慮する。 ・全員が発表し、本時の振り返りまでできるように時間の管理をする。 ◆生徒各自が調査研究しまとめた内容を、聴衆者に対して分かりやすく表現に工夫しながら、発表している。(観察シート) ◆聴衆者としての気付きや意見を適切に述べている。(やりとりが何える：観察シート)
まとめ 10分	5 本時の振り返り 自己評価シートへの記入 6 今後の取組みについての確認 「地域を知る」(第2単元) 住田町まち歩きについて	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究を重ね自分から発信していくことの意義を確認する。 ・今までの活動を振り返りながら自己評価を行う。 ・次の学習活動内容の説明をする。